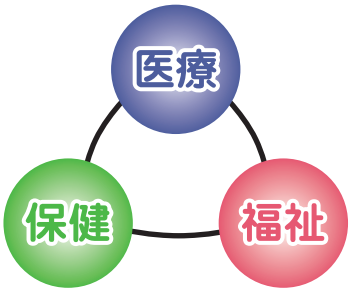
ふれあい　第62号

医療法人 社団 創健会　広報誌　発行：2026年10月



基本理念

「ふれあいと健康をもとめて」

基本方針

1. こころとこころのふれあう保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供します
2. それぞれのニーズに応じた健康の保持増進に貢献します
3. 地域に開かれた信頼される施設づくりに努めます



ソバの花：花言葉は「あなたを救う」

日本医療機能評価機構　一般病院1
機能種別版評価項目3rdG:(Ver2.0)
認定の医療機関です


認　定　証
Certificate of Accreditation
松江記念病院
☆☆☆☆☆

目　次

・委員会活動紹介　医療安全管理対策委員会 ……P2
・第18回 地域の介護を考える会……P3
・第33回ふれあいコンサートのご案内……P3
・リハビリテーションだより ……P4
・外来からのお知らせ ……P5
・職域・地域での健康づくり……P5
・地域連携課だより ……P6
・介護医療院宇賀の里つばさ　通所リハビリテーション ……P6
・介護医療院宇賀の里つばさだより『ほのぼの』 ……P7
・栄養だより……P8
・写真部よりこんにちは！……P8

委員会活動紹介　医療安全管理対策委員会より

松江記念病院　医療安全管理責任者　舟塚　雅英

近年、医学・医療の高度化に伴い、多くの医療行為は、多職種による複雑な業務工程を経て提供されるようになった。その結果、人間の不確実性がもたらすエラー（ヒューマンエラー）や、不良な情報伝達によるエラー（コミュニケーションエラー）、また、脆弱な組織構造がもたらすエラー（システムエラー）等に起因する有害事象や医療事故が顕在化し、これらの制御が重要な課題として認識されるようになった。日本における医療安全対策は、2000年前後に発生した複数の大病院での重大医療過誤事例発生から始まり、次いで2008年～2009年頃に集中して報道された、小規模医療機関群における医療事故事例（島根県益田市でのクリニック血糖測定器使い回し事例含む）等、診療の規模にかかわらず、医療行為が存在するすべての医療現場に求められる日常的課題であることが判明し、厚生労働省主導のもと、さまざまな取り組みや条例が実施され、医療安全管理者（確固たる医療安全教育・トレーニングを受けた有資格者）の配置、インシデントレポートシステム（間違えそうになったことや、実際に間違えたことなどを報告すること）の導入等は、医療現場に大きな変化をもたらした。

当院においても厚生労働省の施策・政策に準じ、医療安全管理体制の構築に真摯に取り組み、現在も医療安全管理室を中心に多職種参加での活動を継続している。松江医療圏域の中で当院は、高次病院（松江市立病院・松江赤十字病院）の後方支援病院として、亜急性期～慢性期患者のリハビリ・療養、終末期患者の看取り対応を担っており、役割的に先進的な医療を提供していないことや、医療資源の提供量相当以上の医療安全管理者（リスクマネージャー）を多数配置し、2001年当初から積極的に取り組んでいること、当院の医療安全の文化ができあがっていることなどにより、大きな医療事故（有事）なく今日に至っている。

これからも全職員で、平時の医療安全業務（現場からのインシデント報告の集積、発生原因の分析や課題の抽出、多職種カンファレンス等による検討、ルールや手順書（マニュアル）の見直し、再発予防のための注意喚起、研修、現場巡視、等）を継続し、当院で築き上げた医療（患者）安全文化を継承していきます。

第18回　地域の介護を考える会

当法人では年に3回「地域の介護を考える会」を開いています。今回は「元気で長く暮らすために大切な事～自宅で出来る予防～」をテーマに、内藤篤医師と田邊優磨作業療法士より、元気で長く暮らすための生活習慣や身体づくりについて話を聞きました。お話しの後には、皆さんで一緒に身体を動かしました。足踏みをしながら計算したり、しりとりをしたりすることで脳も活性化すると説明がありました。ぜひご家族やお友達と一緒に楽しく行ってもらうと良いと思いました。

毎回、参加された皆様とざっくばらんに意見交換をする時間を設けています。今回も体操のあと、いくつかのテーブルに集まり、一人暮らしでの不安や介護保険サービスのこと、自宅で運動する目安等、様々な話題が出ていました。



今後も身近なテーマを取り上げ、皆さんと一緒に介護について考える場として、この会を続けていきたいと思います。次回は10月25日（日）10:00より「元気で過すための感染予防～今日から出来る！予防のコツ～」というテーマで行う予定にしています。ぜひお気軽にご参加ください。

参加ご希望の方は地域連携課
0852-29-0166 まで

第33回ふれあいコンサートのご案内

今年も、皆様に音楽を楽しんでいただく「ふれあいコンサート」を開催いたします。平成6年より毎年12月に開催している“ふれあいコンサート”は今年で33回目を迎えます。今回は”乃木コーラスの皆様”、創健会音楽サークル“ONBORAT”、職員バンド“MEMORIAL　BLUE”を迎え、心温まる歌声や演奏をお届けします。（感染状況等により、一部内容を変更する場合がありますことをご了承ください）

音楽には聞く人の心を和ませたり、楽しい思い出を思い起こさせたりする力があります。日々の入院生活のひとときに、和やかに音楽を聴きながら、皆様と一緒に楽しい時間を過ごしていただければと思います。

入院、入所中の方々、ご家族の皆様に楽しんでいただきたく準備をすすめております。



日時　令和8年**12月6日（日）** 13時半～15時

場所　松江記念病院　介護医療院　宇賀の里つばさ
通所リハビリテーション　ホール

リハビリテーションだより

～令和8年度 健康教室を開催しました～

第13回を迎えた健康教室は前年度参加された方のご要望にお応えする形で、今年度は6月20日（土）に腰痛予防教室として開催致しました。

腰痛予防教室の実施内容

講　義　医師　内藤　篤
「腰痛について」

講義・体操　作業療法士/ヘルスケアトレーナー　若林　祐太
「腰痛を知る・腰痛を防ぐ・元気に生活を続けるために」
「腰痛体操」





医師からの腰痛についての講義で理解を深め、作業療法士が生活の中に潜む腰痛発生リスクの高い場面の紹介や対応方法の提案、家でも続けられる腰痛体操の実演指導を実施しました。

地域にお住まいの９名の方々にご参加を頂き、「観て・聴いて・身体を使って」と楽しみながらの学びの機会となりました。来年度もご希望のテーマをお伺いしながら、リハビリテーション部にて企画実施を予定しています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

リハビリテーション部　若林　祐太

外来からのお知らせ

インフルエンザ予防接種について



インフルエンザは、インフルエンザウイルスが原因で起こる病気で、突然の発熱、全身の倦怠感などの症状が特徴です。

特に高齢者や乳幼児は重症化しやすいため、注意が必要です。

人間の身体は、ウイルスに感染すると、そのウイルスを排除しようとする働きをもった物質（抗体）を作り、次に同じウイルスが入ってきても感染症になりにくくする「免疫」という働きがあります。この働きを利用するのがワクチン接種です。

インフルエンザワクチンの効果と持続時間には個人差があります。一般的にはインフルエンザワクチン接種2週間後から５ヶ月間程度効果が持続するとされています。

当院では、10月13日からワクチン接種を実施する予定です。予約・料金等につきましては病院内掲示板、ホームページにてご案内いたします

インフルエンザの感染を防ぐポイント「手洗い」「マスク着用」「咳エチケット」

インフルエンザの感染を広げないために、ひとりひとりがかからない、うつさない対策を実践しましょう

職域・地域での健康づくり

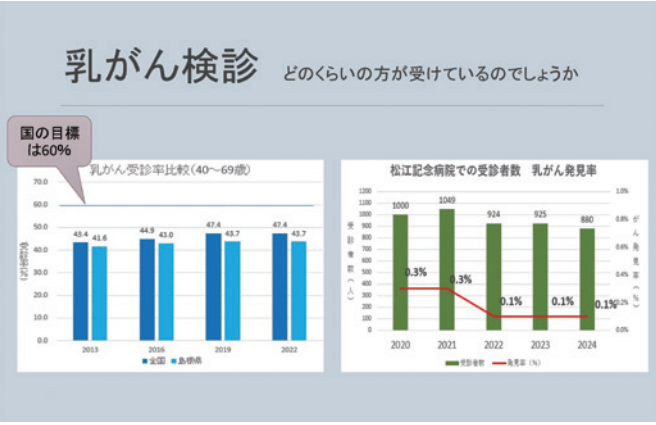
人間ドックの日　2026年は【女性の健康】を取り上げました

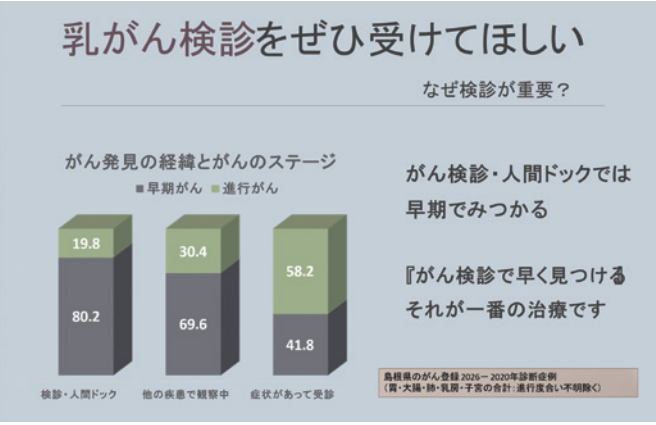


1954年（昭和29年）7月12日、日本で初めての人間ドックが実施されました。人間ドックの日活動として今年は当院での乳がん検診、子宮がん検診の実施状況、がん発見数、そして女性の健康について掲示をおこないました。



島根県の乳がん、子宮がん検診受診率は国の目標60％に達していないのが現状です。松江記念病院健康支援センターでは、10月18日（日）を、乳がん、子宮がん検診を受けてもらえる日曜日、女性の健康を大切に考えてもらいたい日として、多職種チームで準備し皆様をお待ちしています。





（2026年人間ドックの日掲示より抜粋）

地域連携課だより

医療法人 社団 創健会　地域連携課
担当　經種 あかり（松江記念病院内）
TEL 0852-29-0166　FAX 0852-27-8435

高齢の方の生活の場としての《施設》今回は有料施設についてご紹介します

施設の種類	住宅型有料 老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅	特定施設入居者 生活介護
特徴	食事の提供、安否確認、生活相談、生活支援等がある高齢者向け住宅		日常生活上の介助（食事・入浴・排泄等）を提供する
条件	自宅での生活が難しくなった方（独居、夫婦二人暮らし、家族が介護できない等） 年齢、要支援・要介護の認定が必要かどうか、医療行為が必要な場合等は施設によって条件が異なります		
医療 介護	通院または医師の往診による診察 訪問看護やヘルパーなど、介護保険を使って外部のサービスを利用する		医師の往診による診察または通院 看護師が日中は常駐する 施設スタッフにより介護サービスが提供される
費用（月）	15万～25万円	15万～25万円	18万～30万円

入所条件や費用、提供されるサービスなどは施設により様々です。詳しくお知りになりたい方は地域連携課までご相談ください。

介護医療院宇賀の里つばさ　通所リハビリテーション



通所リハビリテーションでは、個別リハビリテーション以外の時間で「自主トレーニング」の時間を設けています。リハビリスタッフが利用される方お一人お一人の身体機能に合わせた自主トレーニングメニューを考案、評価、見直しをしながら決定しています。体力作りから、手足の運動、指先の運動、脳トレまで幅広く行っており、皆様熱心に取り組んでいらっしゃいます。写真は棒体操の様子です。棒体操は腕の筋力が向上し、姿勢の改善、転倒予防にも高い効果があります。利用者様からは「出来ることが増えて嬉しい。」との実感の声や、「次はこんな運動をしてみたい。」と意欲的な声をいただいています。

1日を過ごしていただく中で、リハビリテーション以外の時間もリハビリスタッフと共に身体機能の向上を目指せるのも通所リハビリテーションのメリットの1つです。今後も活動的に、且つ楽しく過ごしていただけるよう取り組んでいきます。

つばさ通所リハビリテーション　田邊　優磨

介護医療院
宇賀の里つばさだより
ほのぼの

秋の気配が日ごとに深まってきて朝晩が肌寒くなり、木の葉も鮮やかに色づき初める季節になってまいりました。

介護医療院宇賀の里つばさでは、自宅に準ずる（長期療養）生活の場として、季節を感じていただき、楽しみのある生活を送っていただけるように6月上旬から手先の運動を兼ねて壁画作りとして『ぶどう』作りに取り組みました。



完成した巨峰

職員が切り取った紫色と緑色のお花紙を手指で丸めたティッシュで包んでもらい『ぶどうの実』を作り、その実を茶色のお花紙で作った蔦に木工ボンドを使用してつなぎ合わせてぶどうの房を作りました。完成した『ぶどうの房』は食堂ホールと廊下に掲示しました。



完成したマスカット

毎月の誕生会にあわせてルールがわかりやすいレクリエーションを計画しています。先日は糸の先に磁石のついた釣り竿を使用して釣り上げる魚釣りゲームをしました。釣った魚を落とさないように腕をゆっくりあげたりするなど皆さん上肢を活発に動かされていました。大きな魚が釣れると拍手と歓声があがり、とても盛り上がりました。



魚釣りの様子



今後も個々の趣味や嗜好に合わせて生活のリズムを整えていくこととともに、笑顔溢れる楽しみのある生活を送っていただけるように取り組んでいきたいと考えております。

介護福祉士　和沙　幸宏

栄養だより

食欲の秋がやってきました。少しずつ寒い日も増えてきた今の時期にピッタリの秋の味覚をふんだんに使用した、お手軽にできる献立を紹介します。麦味噌の香ばしさ、白味噌の甘味とまろやかさ、それぞれの良さを引き立てあう「合わせ味噌」を使用した、ボリュームもありメイン料理の代わりにもなる一品です♪



様々な材料でアレンジできる豚汁ですが、
4人分の材料にトマト缶1缶もしくは
トマト中2個を加えたアレンジもオススメです。
豚汁とトマトの酸味がマッチします。
ぜひ試してみてください♪



秋の味覚たっぷり豚汁

★材料(4人分)★

- 豚肉 …… 80g
- 里芋 …… 80g
- 大根 …… 80g
- 人参 …… 40g
- 椎茸 …… 3～4個
- 白葱 …… (好みの量を)
- 麦味噌 …… 20g
- 白味噌 …… 20g
- 出し汁 …… 600ml
- サラダ油 …… 小さじ1
- 清酒 …… 小さじ1
- 七味唐辛子 …… (好みで)

★作り方★

① 豚肉を一口大に切り、酒をふる。
② 野菜はそれぞれ食べやすい大きさに切る。
③ 鍋に油を引いて豚肉を炒め、白っぽくなったら野菜を全て加えて炒める。
④ 野菜に火が通ったら、出し汁を加え、一煮立ちさせ、アクを取り除く。
⑤ 火を止めて味噌を溶かし入れて器に盛って完成。

管理栄養士:出路将貴



「写真部よりこんにちは!」

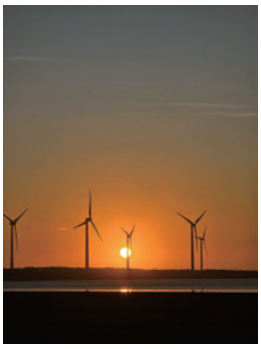


季節の風景



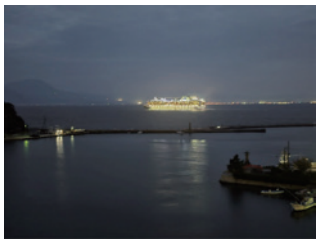
観音様の慈悲の光

京都、清水寺から放たれる、観音様の慈悲の青い光は空へ一直線に伸び、古都の街並みを美しく照らします。清水寺夜間特別拝観に合わせて実施されます。



高見湿地の夕日

台湾台中の「高見湿地」干潟に空が映り込み“台湾のウユニ塩湖”とも呼ばれています。その広大な干潟の向こうに沈む夕日は圧巻です。風力発電の風車もステキなアクセントになっています。



美保湾を優雅な光で照らすクルーズ船

境港を出港した豪華クルーズ船が夜の静かな美保湾をまばゆい光を放ちながらゆっくりと滑るように通過して行きました。船内の明かりやライトアップが湾一帯を優雅に照らします。2021年は2隻だった寄港も昨年は47隻へ増加。この時のクルーズ船の次港は韓国釜山です。



嫁が島から望む国宝松江城

嫁が島から望む、松江城。400年以上の歴史を誇る国宝の風格が漂います。水と城と空が織りなす光景は秋の澄んだ空気と共にとても印象深い光景となりました



嫁が島を守る如泥石

約1,200年前に噴出した溶岩からなる宍道湖唯一の島、嫁が島。その護岸は円柱形の来待石で造られた「如泥石」が守っています。以前は宍道湖岸にもあったそうですが、今は嫁が島でしか見ることはできません。夏には歩いて、秋には船で渡るイベントがあります。

編集後記

今年は気象庁が最高気温40度以上の日を「酷暑日」と定め、全国的に猛烈な暑さが続く夏でしたが、ようやく秋らしくなりました。今年もあと3ヶ月で終わりますが、これから気温の差も大きくなりますので、皆様どうぞご自愛ください。

広報委員長　原　明宏

編集・発行　松江記念病院　広報委員会
連絡先:〒690-0015 松江市上乃木3-4-1
電　　話:0852-27-8111(代)
ファックス:0852-27-8119

松江記念病院／松江記念病院内 健康支援センター
介護医療院　宇賀の里つばさ
訪問看護ステーション　あゆみ
居宅介護支援事業所　かけはし